

コーポレート ガバナンスに ついて

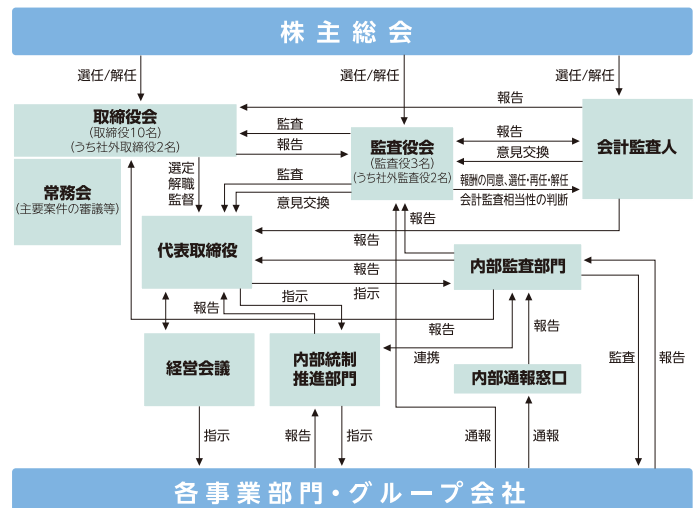
経営環境の把握や経営環境の変化に迅速かつ的確に対応できる意思決定と適法かつ妥当な業務執行が可能な経営体制およびステークホルダーに対して公正で透明性を高めた、国際競争力のある経営を目指します。

企業活動を支えているすべてのステークホルダーの利益を重視し、かつ長期的・継続的な株主価値の最大化を実現するため「企業価値の向上」に力を注ぐと同時に、社会的に信頼される企業を目指して「コーポレートガバナンスの強化」が必要と考えています。なお、当社のコーポレートガバナンス体制を明確にし、実効的なコーポレートガバナンスを実現させることを目的に、「大真空コーポレートガバナンスガイドライン」(URL:<http://www.kds.info/investors/management-policy/corporate-guideline/>)を制定しています。

コーポレートガバナンス体制

経営上の基本方針・重要事項の決定機能および代表取締役の職務執行の監督機能としては、会社からの独立性と財務・会計・法律の分野において専門的知見を有している社外取締役複数名を含む取締役会を、取締役の職務執行の監査機能としては監査役・監査役会をそれぞれ経営体制の基本としています。

また、監査役につきましては、取締役会その他重要な会議に出席し、独立・中立的立場から適切な意見を述べることで経営監視の実効性を図っています。さらに会計監査人を設置し、会計に関する正しい経営情報を提供し、公正不偏な立場から監査が実施される環境を整備しています。



社外取締役メッセージ

私に課せられた任務は、独立性と透明性の高い監視を行い、慣習などに縛られない新たな発想や理念を経営に取り入れることができるようにすることです。当社の状況や課題、そしてそれに対する対応をよく理解したうえで発言をしていくことに努めておりますが、同時に株主や顧客の意見を代弁するため、あえて素人目線で当社を客観的に見ることも大切にしております。

私ども社外取締役がしっかりと機能することが信用に繋がりが、会社の発展に繋がっていくものと思いますので、重責を認識し、緊張感をもって職務にあたりたいと考えております。

小寺 利明

私は、弁護士として種々の紛争解決に携わってきた経験を活かし、法的観点からリスク管理を十分注視するとともに、裁判官在職時に培った公正妥当なものを見方をも活かし、経営の監督責任を果たしたいと考えています。

また、社外取締役として、社外の立場だからこそ言える率直な意見を述べるとともに、取締役会での自由闊達な議論を通じて、企業価値の向上に貢献できるように、微力ながら全力で取り組む所存です。

今後とも当社に対する絶大なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

飯島 敬子